

泌尿器科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	悪性腫瘍における免疫細胞分布と治療奏功性並びに予後との関連性の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	病理診断科
研究責任者	教授 都築豊徳
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋大学医学部泌尿器科：加藤真史 理化学研究所 革新知能統合研究センター：山本陽一朗
研究の意義・目的	悪性腫瘍内での免疫細胞の機能解析を目的としています。
対象となる患者さん	2000年1月から2020年12月までに腎癌、上部尿路上皮癌、膀胱癌と診断された患者さん
研究の方法	腫瘍部の代表的な部位を選択し、同部位に対して腫瘍免疫に関連する細胞に対する免疫染色を行います。これらの画像をデジタルデータ化します。これらと予後とを人工知能を用いて相関性を探索します。患者さん個々のデータは匿名化されるため、特定人物の結果の公開は困難です。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2025年5月31日
研究に用いる試料・情報	試料：腎臓、上部尿路及び膀胱の悪性腫瘍と診断され、手術により摘出された癌組織のパラフィンブロック 情報：悪性腫瘍内に存在する免疫細胞の種類や分布等の状況と予後
外部への試料・情報の提供	愛知医科大学で得られた病理データ及び画像データをデジタル化し、理化学研究所 AIP センターに試料提供を行う。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：教授 都築豊徳 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37410)